
NAGI

家主

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

NAGI

【Nコード】

N1463J

【作者名】

家主

【あらすじ】

ある日、平凡な生活を送っていた少年は手違いで死神に殺されてしまった。その直後、少年は異世界の神様の声を聞く。基本なんでもあり、いきあたりばったり小説です。

それは一瞬の出来事だった。

日々の日課、ニコ生<ニコニコ動画生放送>を観覧していた時だった。

世の中というものは鬼畜なもので一番見たい番組のときに限って混雑していて見るができない。

一般会員の俺はただ悲鳴を上げることしかできずにいた。

仕方なく、世界のようにつべこそYouTubeに画面を切り替えようとしたその時。

いきなり画面が真っ赤に染まった。俺はPCB<パソコンボーイ>だ。

そんなことでは動揺しない。何か仕掛けがあるんだろうと落ち着いて考える。

まさか赤い部屋でもあるまいし後ろを振り向いたら死神がいたり・・・。

ザシュツ。

ありえない。こんな死亡フラグ現実にあっという間はすぎない。

こんなこと世界のWikipediaだつて予測不可能なはずだ。

だけど案外都合の良い話かもしれない。

中2の俺がやるものといえばテスト、勉強、部活、塾。PCやゲームを一時間以上すれば母親の怒号が家中に響き渡る。こんな生活でいいのか？ 限りある短い人生を棒に振っていいのか？

だけど世の中なんてかなーりくだらないとも思う。

やりたいことなんていくらでもあるけど……ここで死ぬるなら本望かもしれない。

俺に希望なんてないんだ。まあ、きつとこれ夢オチだろうがね。起きればきつと全部「嫌な夢だった」の一言で終わる。世間一般で言うお約束というやつだ。

『少年よ』

天から声が降ってきた。

「はいなんですか？」

『おお、なんと対応力のある少年かッ。わしの声を聞いても動揺せず冷静に返答するとは……なかなか肝の据わった男じゃ』

どうやら死亡フラグは回避できたようだ。

だけどこの爺さんの声、なんなんだろうか。

流石夢、なんでもありだ。

『よいか少年よ。現実逃避せずに聞け』

いや、爺さん。現実とかどうこう言う前にこれ夢です。

『お前さんに試練をやる。お前さんは今死んだ。生き返るためにもう一つの世界を救って来い。わしがその世界の神様なわけだが……。まあちよいといた手違いでお前さんの家のPCにウィルスとして入り込んだじゃったみたいで。自動的に死神もこっちの世界に来てしまったみだいで。まあ悪い話じゃなからう。どうじゃ？引き受けてくれんかのう。引き受けてくれるならばお前さんの命を現世に留めておいてやるう』

いや、そんなことはありえない。だってこれは夢なんだから。

こんな夢みたいなのが現実で起るんなら俺は神様相手にだってケンを申し込んでやる。でも夢ならこの話に乗ってやってもいい。

「ふッ・・・もう一つの世界ねえ。その世界に行つて俺に得はあるのか神様？」

『ふむ。あるといえはあるし、ないといえはないのう』

「なんだよはつきりしないなあ」

『まあ、行つてみればわかるわい。それじゃ転送開始するぞい』

「えええ！？まだやるつて言つてな・・・」

落ち着け、俺。考えてみればすぐわかることだ。

ここまでくれば大抵目が覚める。ここからが楽しいところなのになあ、と心の中で呟きながら朝日を浴びる。そうさ……ここからが楽しいところなのにつて目が覚めるんだ。目をあけるとそこには見慣れた天井が……ない？

あれ？ここ……どこだ？

「うつそだるオイ……」

まるでゲームや漫画の類の世界に入り込んだような気分だ。まさか自分がこんな嘘みたいなの、夢みたいなのに巻き込まれるなんて……。

俺の名前は原和^{はな}。

至って普通の中学2年生だ。

容姿は良い……と周りからは言われるが個人的には容姿は別にどうでもよい。

要は中身だ。人間中身が肝心だ。人間としての器。器量がなによりも大切だ。

何事にも対応できるほどの大きな器……。

俺は今、人生最大の危機に陥っている。鬼畜なネ申様。どうか俺にこの現状を把握できる大きな器をください。

こうして俺の平和に満ちた生活に終止符はうたれた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1463j/>

N A G I

2010年10月20日19時33分発行